

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和元年8月6日)

事業コード	R元-建-新-01		区 間	● 国庫補助 ○ 県単独			
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課			
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483			
路線名等	国道 105号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治			
箇所名	仙北市西木町上桧木内字堀内		担当者名	副主幹(兼)班長 碓石 信太郎			
プランと連の関	政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略			
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備			
	指標コード	02	施策目標(指標)名	高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成			
1. 事業の概要							
事業期間	R 2 ~ R 10 (9 年)		総事業費	16.2 億円	国庫補助率	59.50	
事業規模	延長 L=830m 幅員 W=6.5(9.5)m (1.50-3.25-3.25-1.50)						
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道105号は、由利本荘市と北秋田市を結ぶ一般国道である。主要都市である由利本荘市、大仙市、仙北市、北秋田市を連絡する幹線道路として、物流や観光などの産業振興や、救急医療、地域防災の機能を担う極めて重要な路線である。 ○ 県では大仙市と北秋田市を結ぶ地域高規格道路「大曲鷹巣道路」を優先整備路線として位置付けており、国道105号の整備を順次進めているが、当該区間は幅員狭小(最小幅員W=5.0(6.0)m)で急カーブ(最小曲線半径R50m)も存在し、事故が多発していることから、整備の優先度が高い。 ○ 道路利用者及び地域住民の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能向上を図るため、早期に整備を実施する必要がある。 						
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網を形成する路線として機能を強化 ○ バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性向上 ・通過交通の排除による沿線住民の安全性向上 ○ 緊急輸送道路としての機能を向上(第二次緊急輸送道路) 						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 以降
	事業費		1,620,000	50,000	50,000	100,000	1,420,000
	経費内訳	工事費	1,464,000			78,000	1,386,000
		用補費	36,000			20,000	16,000
		その他	120,000	50,000	50,000	2,000	18,000
	財源内訳	国庫補助	963,900	29,750	29,750	59,500	844,900
		県 債	590,400	18,200	18,200	36,400	517,600
その他							
一般財源		65,700	2,050	2,050	4,100	57,500	
事業内容			路線測量、道路詳細設計、地質調査	橋梁詳細設計、用地測量	本工事用地補償	本工事用地補償	
調査経緯	○ 平成29年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	○ 第3期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略「秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略」を推進する事業						
関連プロジェクト等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域高規格道路「大曲鷹巣道路」大覚野峠区間の整備推進に向けて、道路計画技術検討委員会において、現地課題の整理やルート選定を実施している。 ○ 「国道105号 大曲鷹巣道路利活用促進検討会議」を設立し、沿線自治体とともに地域の経済・観光振興のための取組を実施している。 						
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成16年12月には人対車両による人身事故、平成16年2月と平成18年7月には、車両相互の正面衝突事故が発生 ○ 仙北市から道路の整備について、要望書が提出(平成30年~) ○ 上桧木内部落会から道路の整備について、要望書が提出(平成28年~) 						
事業効率把握の手法	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無			
	目 標 値 a	93.9 %	データ等の出典	道路課調べ			
	達 成 値 b	93.9 %					
	達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	平成 31 年 4 月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○ 幅員が狭く、大型車両のすれ違いが困難となっているほか、最小曲線半径50mの急カーブが存在し、人身事故も発生していることから早期に整備する必要がある。	25点
緊 急 性	○ 国道105号は、地域高規格道路「大曲鷹巣道路」が優先整備路線に選定されており、順次道路改良や今後の整備に向けた調査を進めているところである。当該箇所は、急カーブが複数存在することなどから、大曲鷹巣道路の中でも整備優先順位が高い区間となっている。 ○ 道路線形、車道幅員ともに道路構造令の基準(R200m、W=6.5m)を満足しておらず、車両の安全な通行に支障をきたしている。周辺には代替となる幹線道路がないことから、事故等により通行止めとなった場合、広域的な迂回が必要となる。 ○ 当該箇所の南側及び北側は改良済であり、一連の整備効果を発揮するためには、早期の事業化が必要である。	13点
有 効 性	○ 第二次緊急輸送道路に指定されており、道路整備による機能向上が期待される。 ○ 仙北市唯一の救急医療施設である市立角館総合病院へのアクセス路線であり、地域医療支援の観点からも早急な整備が必要である。	13点
効 率 性	○ 事業の費用便益比は1.54であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 13.5億円 ・総便益の現在価値 20.7億円 ○ 計画交通量は5,500台/日である。	15点
熟 度	○ 仙北市より道路整備の要望書が提出されている。 ○ 上桧木内部落会より道路整備の要望書が提出されている。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	81点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に務める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R元 - 建 - 新 -01)
 箇所名 (仙北市西木町上桧木内字堀内)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	3	17	17	2次改築事業については該当しない。 ・車道幅員5.0m ・最小曲線半径50m ・冬期堆雪巾なし	
		2箇所	2	12			
		1箇所	1	7			
		該当箇所なし	0	0			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	3項目該当	3	18	8	2次改築は配点35点 2次改築は配点26点 2次改築は配点16点 ・事故率58件	
		2項目該当	2	13			
		1項目該当	1	8			
		該当項目なし	0	0			
	計				35	25	
緊急性	道路をとりまく環境等						
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	7	0			
		なし	0				
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	7	7	・災害や事故で通行止めの場合、広域迂回		
		なし	0				
	同一路線の整備状況	整備済み	6	6	・前後は改良済み		
		未整備	0				
	計				20	13	
	有効性	道路の位置づけ					
緊急輸送道路		第1次輸送道路	5	4	・第2次緊急輸送道路		
		第2次輸送道路	4				
		第3次輸送道路	3				
		指定なし	0				
救急医療施設へのアクセス		アクセス性向上に大きく貢献	5	5	・市立角館総合病院 (二次救急医療施設)		
		アクセス性向上に貢献	4				
		アクセス性向上への貢献が小さい	3				
観光・産業の活性化		活性化に大きく貢献	5	4			
		活性化に貢献	4				
	活性化への貢献が小さい	3					
計				15	13		
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	・B/C=1.54		
		1.0未満	0				
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	・5,500台/日		
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3				
1,000台/日未満		0					
計				15	15		
熟度	地元の状況						
	地元ニーズ	要望あり	10	10	・仙北市より要望書		
		要望なし	0				
	地元の協力体制	あり	5	5	・上桧木内部落会より要望書		
		なし	0				
計				15	15		
合計				100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		